

シニアのためのパソコン&スマホ広場(その 146)

Windows 10 サポート終了による、中古パソコン購入時の着目事項

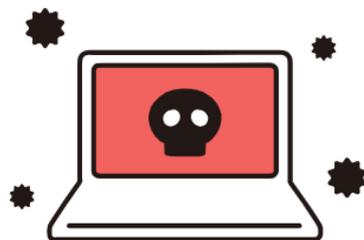
最近、「スマホ」が普及して社会基盤の役割を担うようになり、日常生活が一段と便利になりました。しかし、私達「シニア」にとって、自宅外で「スマホ」を使ってデータ通信(インターネット検索やメールの送受信など)を行う頻度が少なく、そのうえ「スマホ」は画面サイズが小さくて見難く、文字入力もし難いため、自宅に居るときも「スマホ」よりパソコンを使用することが多いのが実状です。

ところが、現在使用しているパソコンのOSがWindows10の場合、サポート終了(10月14日)まで残り約1ヶ月になりました。

Windows10のサポート終了後は、Windows10に関する脆弱性の修正や、“Windows Update”情報などがMicrosoft社から送信されなくなるため、Windows10パソコンを使ってインターネットを利用し続けると、パソコン動作の不具合や、ウイルス感染による個人情報の漏洩など、セキュリティリスクが極端に高くなることは既知のとおりです。

既に、OSを「Windows11」にアップグレード済みのパソコンは今までどおり使用できますが、Windows10パソコンをご使用の場合、OSをWindows11に変更する必要があります。

パソコンをWindows11にする方法は、「パソコン&スマホ広場(その139)」で紹介しましたが、今回は高齢者が低コストでWindows11がインストールされた中古パソコンの購入について、事例により紹介しますので、これから中古パソコンの購入を検討するときの参考にしてください。



<事例-1>



【整備済み品】 FUJITSU デスクトップパソコン D587/WIN 11/MS Office 2019/第7世代 i5-7500/メモリ 16GB/SSD 256GB/USB 3.0/DVDドライブ/DP対応/初期設定済 (整備済み品)

Amazon Renewedのストアを表示

3.7 ★★★★★ (46)

過去1か月で100点以上購入されました

タイムセール

-15% ¥ 15,980 税込

... OK

... NG

① CPU(中央演算装置)

CPUは、コンピュータの中心となって機能する装置で、人間に例えると頭脳に該当し、CPUの性能の良し悪しがパソコンの速さや能力を決めるメインパーツです。

このパソコンにはインテル社の「i5」のCPUが搭載されているので、長編動画の編集や、複数のアプリを同時に起動しない一般的な用途(Word、Excel、インターネット検索など)には問題ありません。

② メモリ(メインメモリ:RAM)

OS(Windows)や各種アプリケーションプログラムを実行するために読み込む作業テーブルの役割をするメインメモリ(RAM)は、16GB搭載されているので問題ありません。

③ ストリーム(補助記憶装置)

OS(Windows)や、各種アプリケーションプログラムをインストールしたり、自分が作成したデータを保存するための“書棚”に該当する記憶装置で、「HDD」ではなく処理速度が早い、「SSD」が搭載されているのでパソコンの起動時間やアプリの動作が速く、大量のデータを保存しなければ256GBの容量でも問題ありません。

④ Microsoft Officeがインストールされている

このパソコンには、日常使う“Word”や“Excel”、“Outlook”が含まれたマイクロソフト社のソフト(Microsoft Officeが)インストールされ、ライセンス認証済みです。

バージョンが“2019”なので、最新版の“2021”より若干古いですが、個人的な用途では特に問題ありません。「Microsoft Officeを2021」を単独で購入すると、約35,000円位掛かります。

⑤ CPUの開発世代… 重要

Windows11は、従来のOS(Windows10)と異なり、バージョンアップ毎に当該パソコンがWindows11の適合条件を満たしているか否かチェックする「適合条件チェック」ロジックが組み込まれています。

この事例のパソコンに搭載されているCPUの開発世代は第7世代のため、Windows11の適合条件非適合です。

中古パソコン業者が「Rufus」のようなフリーソフトを使って、Windows11の適合条件チェックロジックを回避させ、Windows11のバージョン「22H2」をインストールしています。

2025年10月以降、Windows11の新バージョン「25H2」がリリースされる予定ですが、バージョン「25H2」をインストールしようとしたとき、「Windows11適合条件チェック」でエラー(CPUが不適合)になるため、通常の方法で「25H2」にバージョンアップできません。

中古パソコン業者は、そのことを明記していないので、このようなパソコンを購入すると、Windows11に新しいバージョンが提供されても、通常の方法でバージョンアップできません。

以上から、この中古パソコンは価格が安く、「CPUの開発世代」以外は問題ありませんが、Windows11の適合条件である「CPUの開発世代」が8世代以降でないため、購入はお勧めできません。

<事例-2>



デスクトップパソコン 富士通 ESPRIMO D588
Windows11 整備済 第9世代 Core i5 9500 ×
メモリ16GB 大容量 高速 M.2 NVMe SSD
256GB + HDD 500GB 秒速起動 高性能 DVD
Display Port マルチ画面対応 MsOffice 2019
(9世代 Core i5 9500)

ブランド: AIPC

4.2 ★★★★★ (52)

Amazon おすすめ



… OK

¥ 32,800 税込

このパソコンは、インテル社の「i5」CPUを搭載しており、主記憶メモリも16GBあるので性能上問題ありません。

また、CPUの開発世代も第9世代で、Windows11の適合条件である(CPUの開発世代が第8世代以降)を満たしているので、Windows11のバージョンアップが問題なく行えます。

なお、このパソコンは、“ハイブリッド構成”といって、プログラムやアプリをインストールするCドライブに256GBのSSDを搭載し、データを保存するDドライブに、500GBのハードディスクを搭載しています。

「MicrosoftOfficeVer2019」もインストールされ、ライセンス認証済みになっています。

(参考)

Windows11 搭載の中古パソコンを購入するときの着目する事項

Windows10のサポート終了により、ネットショップなどで中古パソコンを購入するときは、以下の事項に着目してご検討ください。

1. 「CPU」の開発世代は、**第8世代以降**であること。
2. 「CPUの種類」は、「i5」または「i7」が適切。
2. **メモリ(RAM)**は**8GB以上**搭載されていること。
3. **ストレージ(補助記憶装置)**は「HDD」でなく「SSD」で、できるだけ**容量の大きいもの**を選ぶ。
4. **純正の「Microsoft Office」**は単品購入すると高いので、**インストール**されているPCを選ぶ。

※ パソコンの傷の有無や程度は、写真や説明を熟読し、電話番号が分かれば電話で確認してください。

以上

田辺・西牟婁地区協議会
森田 那華雄